

こどもの意見聴取
(令和 6 年 7 月 5 日～21 日)
令和 6 年 8 月 5 日概要まとめ版

こどもの意見聴取

目的

こども基本条例やこども計画など、こどもに関する決まりや施策の検討にあたり、こども・若者の意見を、WEBアンケートにより聴取しました。

期間

令和6年7月5日～令和6年7月21日

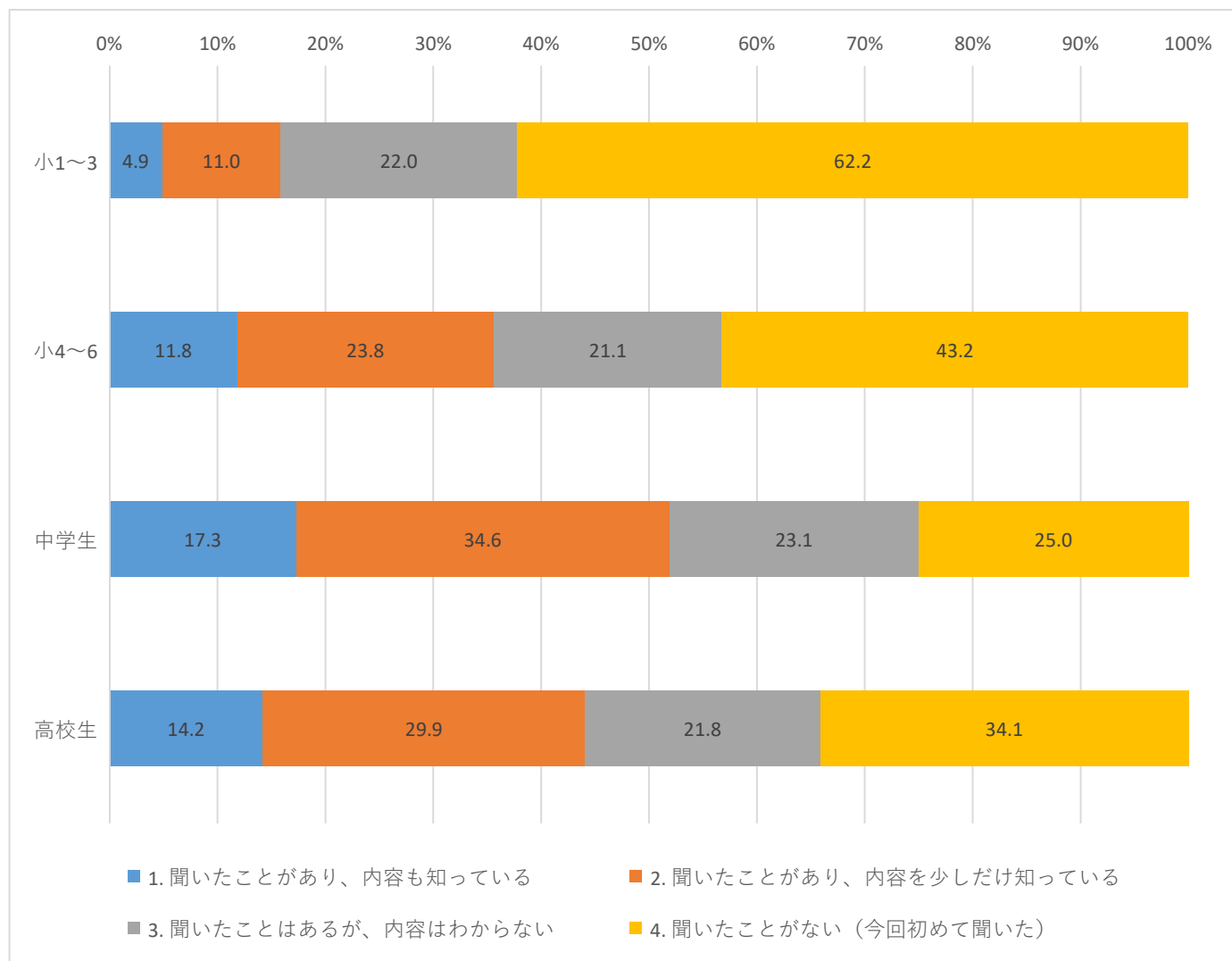
対象

市内在住・在学の小学1年生～18歳

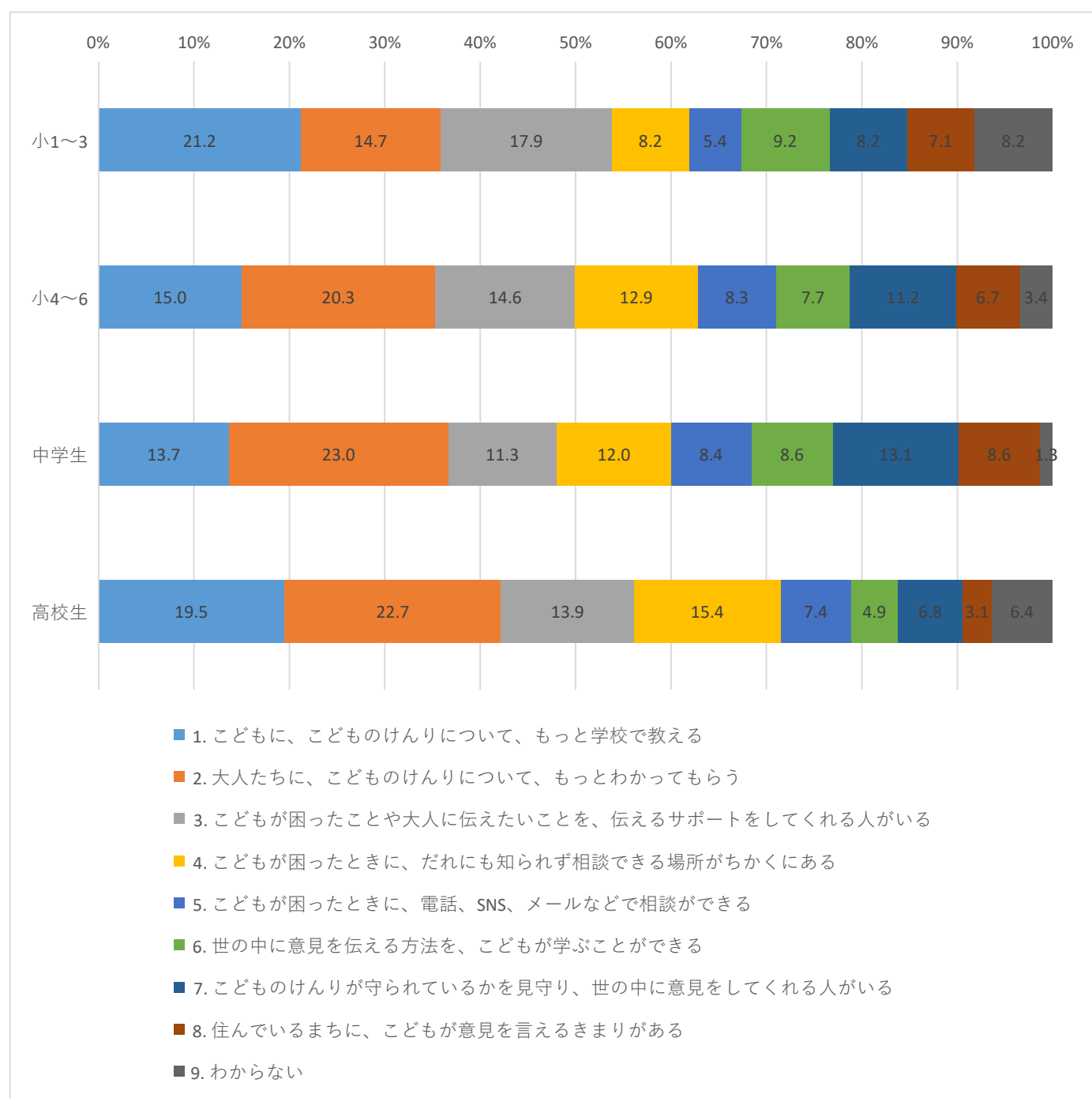
回答数

小学生低学年	82名
小学生高学年	592名
中学生	208名
高校生（18歳まで）	211名
計	1,093名

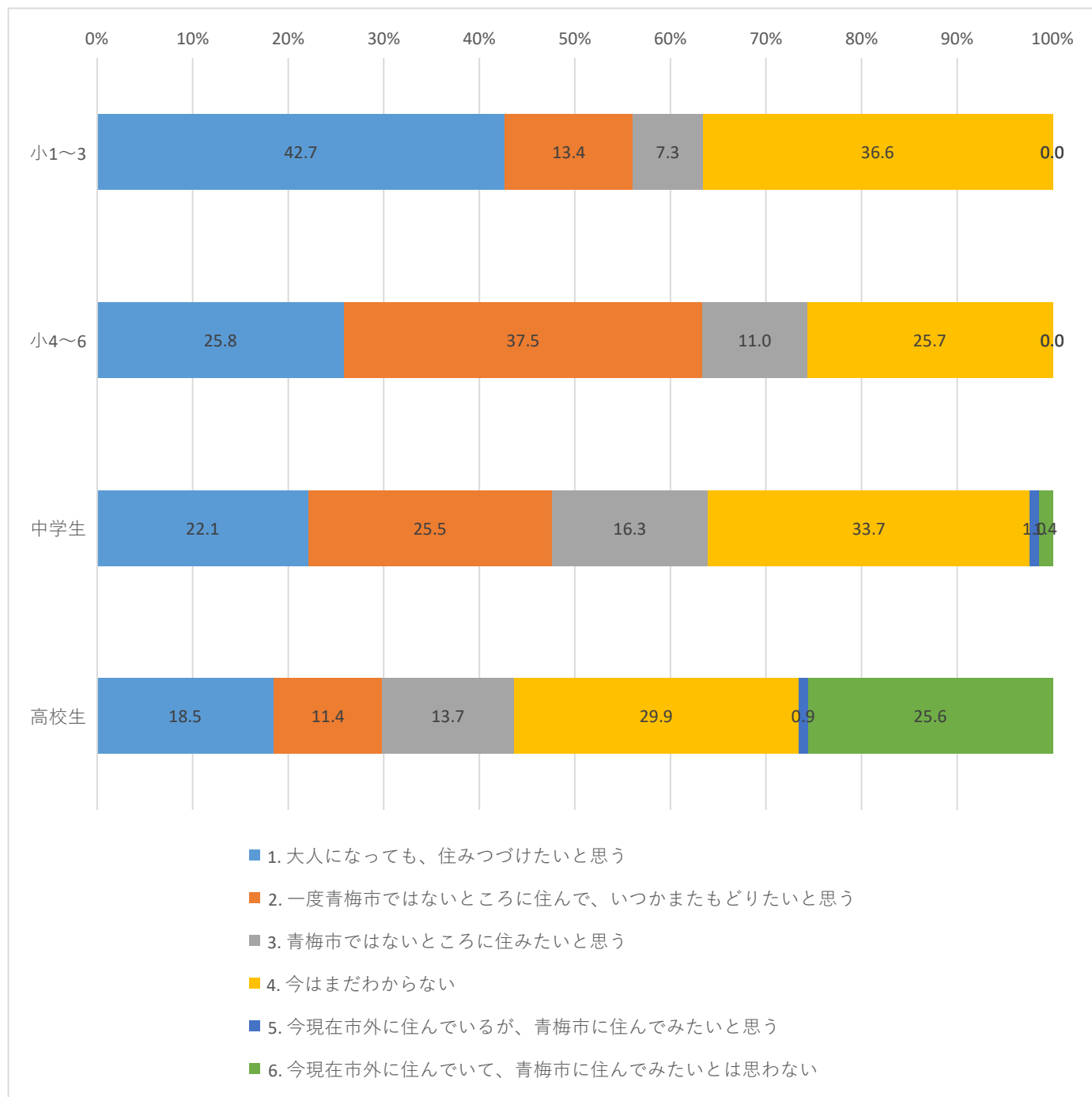
あなたは、そんな「こどものけんり」を知っていましたか。		小1～3	小4～6	中学生	高校生
1.	聞いたことがあります、内容も知っている	4	70	36	30
2.	聞いたことがあります、内容を少しだけ知っている	9	141	72	63
3.	聞いたことはあるが、内容はわからない	18	125	48	46
4.	聞いたことがない（今回初めて聞いた）	51	256	52	72
	計	82	592	208	211



「こどもの権利」が守られるためには、特に何が大切だと思いますか。3つまで		小1～3	小4～6	中学生	高校生
1. こどもに、こどものけんりについて、もっと学校で教える		39	238	75	95
2. 大人たちに、こどものけんりについて、もっとわかってもらう		27	322	126	111
3. こどもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人がいる		33	232	62	68
4. こどもが困ったときに、だれにも知られず相談できる場所がちかくにある		15	204	66	75
5. こどもが困ったときに、電話、SNS、メールなどで相談ができる		10	131	46	36
6. 世の中に意見を伝える方法を、こどもが学ぶことができる		17	122	47	24
7. こどものけんりが守られているかを見守り、世の中に意見をしてくれる人がいる		15	177	72	33
8. 住んでいるまちに、こどもが意見を言えるきまりがある		13	106	47	15
9. わからない		15	54	7	31
計		184	1586	548	488



あなたは、将来、青梅市に住みつづけたいと思いますか。今の気持ちを		小1～3	小4～6	中学生	高校生
1.	大人になっても、住みつづけたいと思う	35	153	46	39
2.	一度青梅市ではないところに住んで、いつかまたもどりたと思う	11	222	53	24
3.	青梅市ではないところに住みたいと思う	6	65	34	29
4.	今はまだわからない	30	152	70	63
5.	今現在市外に住んでいるが、青梅市に住んでみたいと思う	0	0	2	2
6.	今現在市外に住んでいて、青梅市に住んでみたいとは思わない	0	0	3	54
計		82	592	208	211



「青梅市がどんなまちになるといいと思いますか」についての自由意見まとめ

※ A I を活用しています。

小学校低学年の意見

まず、多くの子供たちが自然に触れることができる場所の増加を希望しています。また、スポーツのできる環境やイベントの多さにも期待が寄せられています。

そして、その一方で、子供たちが心地よく過ごすためには、安全性や相互のつながりも重要な要素として挙げられています。

さらに、子供たちの中には具体的な施設やショップの建設を望む声もあります。特に医療施設や遊び場、図書館などが挙げられています。

また、地域の自然環境の保全や街の美化にも関心が寄せられており、青梅市の将来像に対する様々な期待が見受けられます。

青梅市がよりよい街になるため、自然、スポーツ、文化イベントなど様々な要素が融合した、安全で楽しく学べる環境を整備することを求めています。

小学校高学年の意見

子供たちが望む青梅市は、自然が豊かな平和な街です。木々が美しい公園や動物と触れ合える施設など、様々な種類の公共施設が充実しているところを希望しています。

また、学校でのいじめや虐待がなく、差別のない街を求めています。自我表現が安心してできる環境、誰もが公平に楽しく暮らせることができる地域を願っています。

さらに、子供たちは、体を動かし遊べる場所が多く存在することを求めています。具体的には、ボールパークや野球場のようなスポーツ施設、室内遊び場などのレクリエーション施設の設立を希望しています。自由に遊べて、笑顔が溢れる街や、子どもたちの話を最優先に聞いてくれる街を望んでいます。

また、彼らは青梅市の自然を保全すると共に、観光地へと発展させることを望んでいます。店舗や飲食店が増え、旅行者が訪れやすい場所になることを希望しています。

最後に、子供たちは老若男女問わず暮らしやすい街を強く望んでいます。一人ひとりが大切にされ、お互いに尊重し合って生きることができる街を、理想の青梅市として想像しています。

中学生の意見

青梅市の子供たちは自然が豊かで、学校や社会とのつながりが強い街に満足しています。

しかし、彼らは将来、より高度な教育機会や仕事の機会があればなお良いと感じています。特に、不登校になった子供たちには更なるサポートが必要と思われます。彼らは、中途半端な教育を受けてしまうと就職が難しいという現実を理解しており、そのためのサポートが欠けていると感じています。

また、子供たちは自分たちが生活する街に公共施設やショッピングセンターなどがあることを望んでいます。それは彼らの日常生活を豊かで楽しくするためでしょう。さらに、子供たちは安全な環境や、観光地やパートナーシップがある活気ある街を望んでいます。

また、子供たちは街が若者や高齢者にも優しく、子供たちの意見を尊重し、学校の授業時間を減らすなど子供たちに対する配慮を望んでいます。

子供たちの希望を尊重する心遣い、教育へのサポート、暮らしやすい環境づくり、街全体での活気と安全な環境を求める意見があることが分かりました。

高校生の意見

青梅市が今以上に住みやすい、自然を尊重した街になってほしいという思いが強く感じられます。

青梅市が便利であり、同時に自然豊かなままでいてほしいとの意見が多く見受けられました。

大型のショッピングモールや、遊び場が増えることで子供たちの遊ぶ環境が豊かになることを求めています。

また、交通の便がよくなることによって都心へのアクセスが容易になることも期待されています。

治安の維持にもメリハリをつけ、大人だけでなく子供たちも安心して生活できる街づくりが求められています。

青梅市の自然を保護し、賑やかさや便利さを求める一方で、静かで落ち着いた生活も望んでいます。道端の清掃も重要視され、ゴミのポイ捨てがない街づくりに貢献したいとも述べられています。

子供たちは青梅市が豊かで魅力的な街になることを強く望んでおり、そのためには大人たちの理解と協力が不可欠です。

あなたは、大型児童センターがどんな場所になるとよいと思いますか。		小1～3	小4～6	中学生	高校生
1.	友達とゆっくり話せる場所	37	459	149	147
2.	友達と騒げる場所	33	259	105	87
3.	違う年齢の人と一緒に活動できる場所	28	221	44	41
4.	ひとりで静かにいられる場所	18	241	68	61
5.	悩みを相談できる場所	29	295	60	55
6.	ゴロゴロ休める場所	32	336	110	74
7.	静かに勉強できる場所	36	293	86	53
8.	本が読める場所	28	249	62	37
9.	マンガが読める場所	20	225	81	33
10.	オンラインゲームができる場所	25	320	97	45
11.	ボードゲームやカードゲームができる場所	31	274	71	39
12.	おもちゃで遊べる場所	37	201	37	26
13.	運動遊具で遊べる場所	51	314	83	42
14.	音楽や演奏ができる場所	27	212	68	43
15.	ダンスができる場所	17	138	44	36
16.	スポーツができる場所	43	344	105	59
17.	工作や陶芸など制作ができる場所	46	270	44	16
18.	その他	5	47	5	8
回答者数		82	592	208	211

■ 1. 友達とゆっくり話せる場所

■ 3. 違う年齢の人と一緒に活動できる場所

■ 5. 悩みを相談できる場所

■ 7. 静かに勉強できる場所

■ 9. マンガが読める場所

■ 11. ボードゲームやカードゲームができる場所

■ 13. 運動遊具で遊べる場所

■ 15. ダンスができる場所

■ 17. 工作や陶芸など制作ができる場所

■ 2. 友達と騒げる場所

■ 4. ひとりで静かにいられる場所

■ 6. ゴロゴロ休める場所

■ 8. 本が読める場所

■ 10. オンラインゲームができる場所

■ 12. おもちゃで遊べる場所

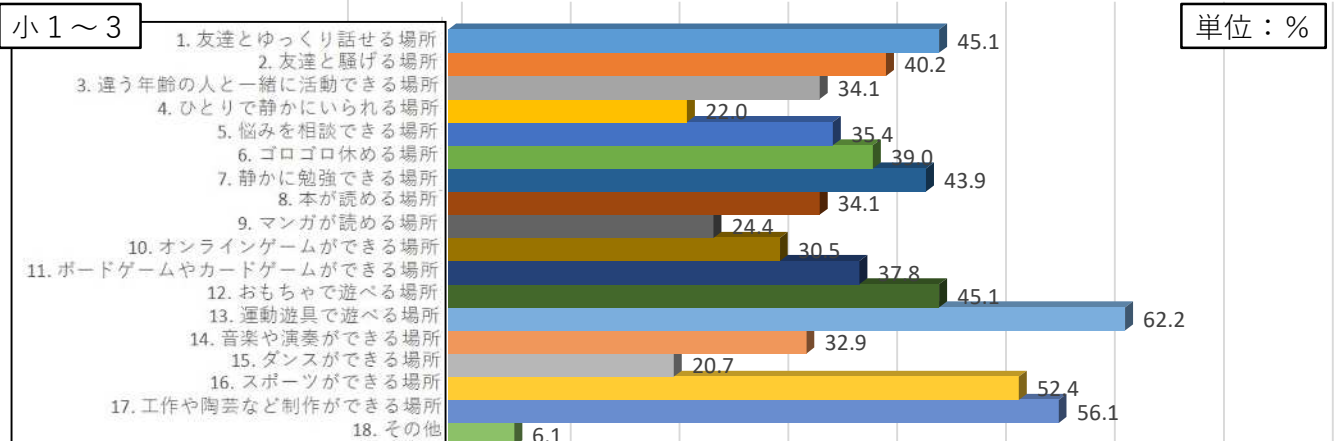
■ 14. 音楽や演奏ができる場所

■ 16. スポーツができる場所

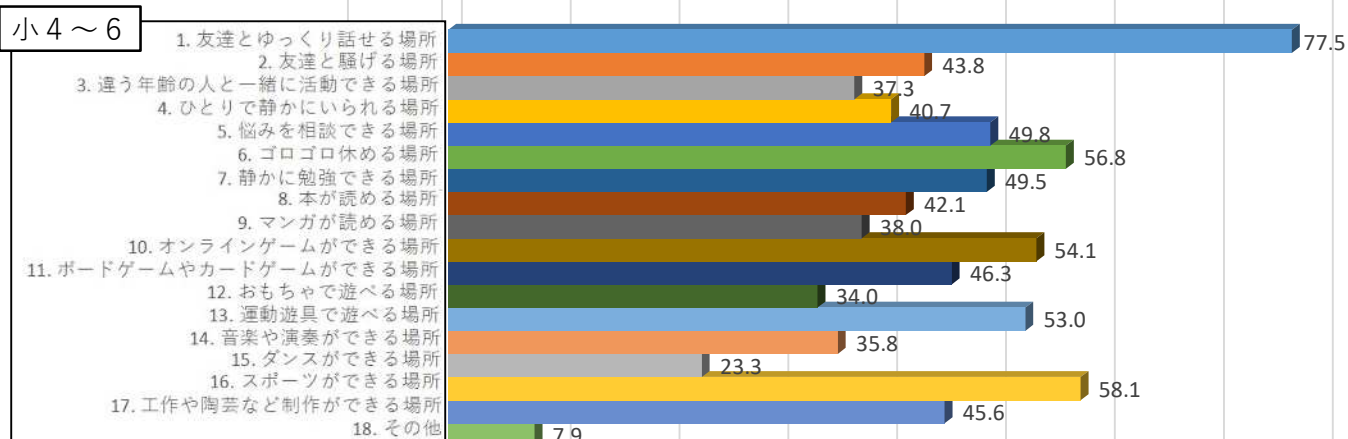
■ 18. その他

小1～3

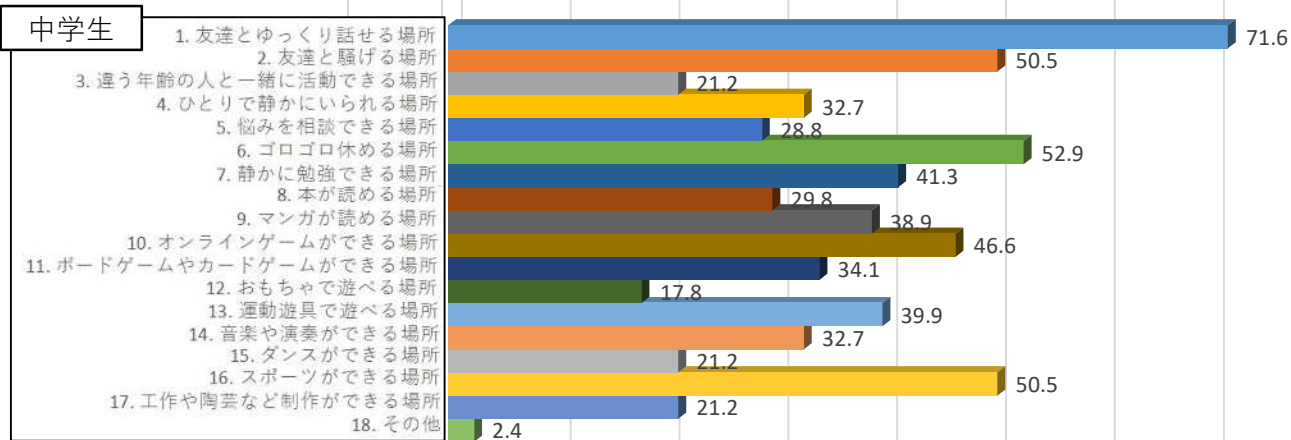
単位：％



小4～6



中学生



高校生等

